

ゆめ通信

★3月6日開催 2017年度 年間活動報告会



2~3 第4回「あるぷすタウン」を開催しました

4~5 学生プロジェクト活動紹介

すずき川花火大会/こどもあそび隊/キッズホッケー/松本BBS会/
ええじゃん栄村/Sign/「ゆめ」編集/◎いただきます!!/キッズスポーツスクール

6 地域フォーラム「ごじょってく」

7 充実した1年間の活動報告会

8 考房「ゆめ」みんなの掲示板

考房「ゆめ」は社会貢献活動を行う学生を支援しています。地域の方からの「お願い」を松大生とともに創造しています!



地域づくり考房「ゆめ」キャラクター こう坊



あるぷすタウン

2018年 2月11日・12日開催

第4回目となったあるぷすタウンには松本周辺地域の小学校4年から中学生まで200名を超す申し込みがありました。実行委員メンバーは仕事の専門家のみならず、高校生及び大学生ボランティアと力を合わせて子どもの作る街の運営を支えました。

仕事ブース 30ブース・アカデミーブース 8ブース
実行委員 29人、当日スタッフ 162人、専門家170人

第4回 あるぷすタウンを 振り返って

総合経営学部
総合経営学科 3年 降旗 あすか

あるぷすタウン当日を迎えるまでの準備期間は、実行委員同士のコミュニケーション不足により、情報共有がスムーズに出来ず悩んだり正直楽しいことばかりではなかったです。

しかし、あるぷすタウン当日、子どもたち一人ひとりが夢中になって仕事し、街の暮らしを楽しんでいる様子、終わりがけに「楽しかった！来年も来たい！！」と笑顔で言ってくる子どもたちの姿を見て頑張ってきた準備をしてきて本当に良かったと思えました。

この活動を通し統率していくことの大変さ、情報共有の大切さ、コミュニケーションの取り方を学ぶことが出来ました。これらに加え、終えてみて気づいたこと、感じたこと、反省点等はまだまだ沢山あります。

第5回あるぷすタウンに向け、1年かけ1つ1つ確実に改善していけたらと思います。



街で使う仮想通貨yume (ユーメ)を受け取ります



ハローワークで仕事を決めます



専門家やスタッフから教えてもらいながらチャレンジ。今回は30種類の仕事がありました



給料をもらう

仕事が終わったら銀行で働いた分のyumeを受け取ります



ラジオ局



茶道



仕事を
探す

働く



税務署の体験から

松商学園高等学校 インターアクト部 桑代理奈 (副部長)

今回、初めて私はあるぷすタウンにボランティアとして参加させていただきました。私は税務署のお手伝いを担当しました。そもそも、私も税務署の仕事内容を知らなかったの、子どもたちの手伝いなんてどうしようかと思っていましたが、税務署で実際にお仕事をされている方々に教えてもらい、私自身の勉強にもなりました。お仕事体験に来た子どもたちはみなとても積極的で、自分から質問したりしてすごいなと思いました。仕事内容だけでなく、税金についても学んでいて、将来の役に立てられたかなと思います。貴重な体験ができ、とても良かったです。



病院



山雅



清掃員



税金を納める



ウェディング



税金を納める

yumeを受け取ったら税務署で税金を納めます
税率は給料の10%です

専門家から一言

株式会社 松本山雅 営業本部 コミュニティ推進部 渡邊 はるか

「あるぷす山雅」は、監督・マネージャー・サッカー選手のお仕事が出来ているブースとなっており、たくさんのお子さんが来てくれました。

開始してすぐ、目をキラキラさせた子どもたちがいきおいよく走ってやってきました。元気いっぱいの子の中にも女の子の姿が。初めは恥ずかしがっていましたが、慣れてくると積極的に取り組み、最後には素敵な笑顔が見られました。

また、子どもたちがボランティアのお兄さんやお姉さんたちと楽しそうに関わる姿を見て、これも「あるぷすタウン」の良さだと感じました。

「あるぷすタウン」を通して子どもたちが将来について考えるお手伝いができたなら幸いです。

今回このような貴重な機会をご用意してくださりありがとうございました。

松本税務署 税務広報広聴官 鈴島 利子

第3回に続きお声を掛けていただきありがとうございました。「あるぷすタウン」を企画運営されている実行委員をはじめ、携わっている全ての方々が同じ目的に向かって取り組んでいることを強く感じました。

納税窓口で、給料の10%を税金として預かる時の真剣な眼差しや、チェック漏れがないか何度も再確認する子どもたちの姿は税務職員顔負けでした。仕事や文化、遊びを楽しく体験でき、異年齢間のコミュニケーションも学べ、社会の仕組みを知ることができ、こんな素晴らしい取り組みが、私たちの子ども時代にもあったらと、何度も思いました。

今後も、子どもたちに現実の政治や税金に興味・関心を持ってもらえるよう、お役に立てれば幸いです。「来年も必ず参加するね！」と、会場をあとにした子どもたちから、充実・達成感を感じ、私もほっとしたひと時でした。

実行委員としてのあるぷすタウン

教育学部 学校教育学科 2年 牛山 綾乃



自分たちで大きな行事を運営していくことが初めての私にとって緊張した2日間でした。しかし、そんな緊張を吹き飛ばしてくれたのは多くの子どもの笑顔です。その笑顔の理由はお仕事をする楽しさや稼いだお金で欲しいものを買うことなどさまざまでした。私は担当の園芸ブースにいたとき、買い物をする子どもの中には「お母さんにあげるんだ！」と話してくれる子もいました。そのうれしそうなお顔を見ると私までうれしくなり今までやってきてよかったなと感じる瞬間でした。

あるぷすタウンでは、普段経験できないことを経験することでとても多くのことを学びました。このことを次回にも活かしながら、さらに良いものにしていきます。

学生プロジェクト

一緒に活動する仲間を募集しています

こんな活動をしています



あるはずタウンの活動は2～3ページで紹介しています

「ゆめ」編集



私たち「ゆめ」編集は大学と地域を繋ぐ冊子「Volere!!」の製作を行い、大学の紹介や地域でのイベントの紹介をしています。Volereとは、イタリア語で「～したい」という意味です。私たちの「～したい」を情報誌という形で表現できます。昨年は「地域と暮らせる情報冊子」というコンセプトをもとに作成したため、取材や地域のイベントに参加してメンバー同士でも仲良くなれます。積極的に地域と関わり現場の声を直接聞くことに力を注ぎました。また、取材や実際に体験したことを学生の目線で伝えていきました。少しでも興味のある方はいつでも考房「ゆめ」にお越しください!

総合経営学部
総合経営学科 2年 岡本 一沙

- ・地域と関わりたい人
- ・みんなでわいわいしたい人
- ・自分の考えを形にしたい人

キッズホッケー



キッズホッケーでは、子供たちにホッケーを通して体を動かすこと、仲間、道具、ルールの大切さを伝えていくことを目的に活動を行っています。週1回大学近くの新村児童センターで小学1～6年生を対象に行い、現在はレクリエーション用のホッケーであるユニホックと呼ばれるもので、練習や試合を中心に行っています。指導も行いますが、子供たちが怪我をしないように実際に試合の中に入って一緒にすることがほとんどです。私も含めプロジェクトメンバーは、ホッケーを経験したことのない初心者ばかりです。新入生の皆さんも子供たちと楽しく活動を行いましょう!

人間健康学部
スポーツ健康学科 3年 勝野 正視

- ・体を動かすのが好きな人
- ・子供たちと楽しく活動を行うのが好きな人
- ・新しいことに挑戦したい人

こどもあそび隊



私たちは、0～5歳児の親子を対象とした、多くの人と触れ合える「こども広場」を開催しています。こども広場では毎回学生自身で企画をし実行しています。活動10年目となる今年度は、もっとこども広場が広がっていき、たくさんの人と触れ合い笑顔が溢れる活動を目指しています。また、学内で行うこども広場だけでなく出張こども広場をしたり、地域のイベントに参加して活動を広げていきたいと思っています。メンバー一同楽しく笑顔で活動をしています。興味のある方はいつでも考房「ゆめ」にお越しください!

松商短期大学部
経営情報学科 2年 本山 泉希

- ・企画力、実行力をつけたい人
- ・子供が好きでふれあいたい人
- ・人見知り直ししたり交流を広げたい人

◎いただきます!!



私たち◎いただきます!!では余りやすい季節の野菜を使用したレシピを考案し、食品ロス削減に向けた活動を行っています。昨年度は松本市の中小小学校で料理教室を開き、5、6年生と「かぼちゃミルクもち」と「ブロッコリーの蒸しパン」を作りました。さらに、食品ロス削減全国大会の一環として銀座 NAGANO で自分達の作成したレシピの料理を実際に一般の方々に食べてもらいました。今年度は料理教室に加えさらに新しい活動をしていきたいと考えています。レシピ開発に興味のある人、料理を作るのが好きな人、食べるのが好きな人、ぜひ一緒に活動しましょう!

人間健康学部
健康栄養学科 2年 大日方 晴菜

- ・子供から年配の方まで幅広く交流したい人
- ・レシピの考案や試作に興味のある人
- ・食品ロス削減に興味のある人

ええじゃん栄村



ええじゃん栄村では、栄村の地域活性化に協力(地域支援)をすることを目的に活動しています。2011年3月にあった栄村地震の復興支援のために立ち上がりました。昨年度は、野々海開きという神事や、収穫祭などの栄村で行われるイベントに参加して、地域の方と交流をしました。また、栄村のトマトジュースを使った和風トマトスープを大学祭で販売しました。今年度は、イベント参加を通して栄村についてもっと知り、栄村の魅力を多くの人に知ってもらえるように、観光マップやPR冊子の作成をしていきたいと考えています。大学に入って何か新しいことに挑戦してみたいと思っている方、ぜひ一緒に活動しませんか?

総合経営学部
総合経営学科 2年 二木 麻友

- ・大学で何かに打ち込みたい人
- ・地域活性化に興味がある人
- ・地域と関わりたい人

すすき川花火大会プロジェクト



私たちすすき川花火大会プロジェクトは、地域企業や実行委員会の方々と協力して花火大会を盛り上げることを目的として活動しています。昨年はポスター・チラシのデザインをガラッと変え、オープニング花火のデザインを私たち学生が考えました。自分たちのデザイン・企画が形となったことが嬉しく貴重な経験になりました。今年は、写真・絵画コンテストの高校生部門の応募数を増やすことに力を入れていきます。私たちのプロジェクトは学生生活でしかできない経験がすることができ、地域の方々と関わることで沢山のことを学べます。大学に入って新しいことを始めたい人、一緒に活動していきましょう!!

総合経営学部
総合経営学科 3年 百澤 琴乃

- ・地域の方々と活動したい人
- ・花火大会と一緒に盛り上げたい人
- ・企画したい人

Sign



Signでは、手話学習と障がい者との交流を行っています。手話学習は聴覚障がいの方に来ていただいて学習会を行ったり、教材DVDを見たりしています。長期休みには、松本市周辺の手話サークルの活動にも参加しています。障がい者との交流は、知的障がいの方々の楽団「ケ・セラ」さんの定期演奏会ボランティアや、視覚障がいを体験できる「ダークネスレストラン」への参加など、様々な障がいを持つ方々と関わっています。これらから感じたことを大学祭などで発信し、障がいの理解・啓蒙につなげたいと考えています。気になった人はぜひ考房「ゆめ」までお越しください。

人間健康学部
スポーツ健康学科 3年 山本 真由香

- ・手話を勉強したい人
- ・障がいについて知りたい人
- ・ボランティアで地域と関わりたい人

キッズスポーツスクール



キッズスポーツスクールは、子供達にスポーツを通して体を動かすことの楽しさを知ってもらうことを目的に、月に1回、体育館でスポーツ教室を開催しています。毎回、活動内容は学生が考えています。子供達に楽しんでもらえるよう、子供達の目線で考えることを大切にしています。1月には、「新聞で遊ぼう」をテーマに、新聞を使って様々なスポーツをしました。新聞を丸めてボールにして遊んだり、ちぎって遊んだりしました。子供達が笑顔で楽しんでいる姿を見て、とても嬉しい気持ちになりました。また、スポーツ教室には、毎回たくさんの親子に来ていただき、子供達と仲良くなることはもちろんのこと、子供達のお母さん、お父さんとも情報交換ができる場所になっています。これからも、人と人とのつながりや、地域のつながりを大切に、子供達に楽しんでもらえるような活動をしていきます。

総合経営学部
観光ホスピタリティ学科 2年 中村 仁絵

- ・子供が好き
- ・スポーツが好き
- ・新しいことに挑戦したい人

松本BBS会



私たち松本BBS会は、非行に走ってしまった少年たちの更生を目的としており、そのためさまざまな活動を行っています。プロジェクト名であるBBSとは、Big Brothers and Sistersの略称で、これは少年たちのお兄さん、お姉さんのような存在となれるようにという意味がこめられています。活動の内容は、少年たちの悩みや相談を聞く「いろりばた集い」、学生が主体となって立案・活動する「社会参加活動」、その他クリスマス会やスポーツ交流会など社会性もありますが、基本的に楽しく活動を行っています。松本BBS会にぜひ入ってみませんか?

総合経営学部
観光ホスピタリティ学科 3年 金子 千尋

- ・企画を考えるのが好きな人
- ・悩みや相談に乗れる人
- ・社会性のある活動をしたい人

ぼくたちは「行動」に飢えている 地域フォーラム「ごじょってく」

2018年
2月24日開催 地域活動を「やりたい」学生と「やってほしい」地域をつなぐ場を目指して、
ごじょ(互助)をキーワードに学生と社会人が語り合いました。



「ごじょってく」に取り組んで

地域と学生を繋ぎ、実際に行動に移して参加していくことを目的とした今回の「ごじょってく」。私はロゴマークやポスター作り、さらには当日の司会まで担当させていただきました。元々デザインには興味があったのですが、大学でまさか実現出来ると思わなかったです。反応が不安だったのですが、当日「これいいよね!」「ポスターに惹かれて来ました」と参加者の方から直接嬉しいコメントをいただけたのは本当に新鮮でした。司会では、LODECの長谷川さんと一緒に、堅苦しくならないよう進行。おそらく私が一番楽しんでたにも関わらず、終了後に聞いてみると「良かったよ!」「想像以上に面白かった」等、意外な言葉をいただきました。改めて協力・参加して下さった皆様、本当にありがとうございました。

今回の地域フォーラムで、自分の考えを形にして見てもらう面白さを知ることが出来たことで私の中でさらに新たな活動してみたいという大きなきっかけとなりました。

総合経営学部 観光ホスピタリティ学科 2年 柴田 文



「ごじょってく」から学ぶ、NPOという ハタラキカタ・カカワリカタ・イキカタ

私は、平成22年度に松本大学を卒業し、現在はNPO法人アルウィズで働いています。当法人のミッションは、まさに「地域の方々へ「ごじょってく」、誰もが住み慣れた地域で安心して充実した暮らしができるような地域づくりに参加する」です。デイサービスの運営を柱に、日々、安曇野市で地域の方々へ「ごじょってく」ミッション達成のために奮闘しています。

今回、私が地域フォーラム「ごじょってく」に参加させていただいた一番の理由は、ボランティア募集ではなく、学生や参加者の方々にNPOという働き方・生き方があることを、今後の人生の選択肢の一つとして知ってほしいということでした。

「ごじょってく」=お互い様、お互いに助け合うことだと認識しています。普段は、当法人はサービスの提供側になりますが、ご利用者さんからいただいているものは沢山あり、日々成長させてもらっているのです。

地域のなかで成長させていただき、そんな「イキカタ」もあるということ、フォーラムを通じて若い人たちに少しでも感じてもらえたら本望です。貴重な機会をありがとうございました。

NPO法人 アルウィズ 小澤 悠維

内容

- ◆パネルディスカッション
テーマ：学生と地域がつながる方法
パネラー：たつみ かずき (LODEC Japan 代表)
廣瀬 豊 (地域づくり考房「ゆめ」運営委員長)
- ◆グループワーク
- ◆学生に参加してほしい団体によるプレゼン
- ◆分科会 気になる団体のブースで説明や意見交換(1回20分×3回)
- ◆懇親会&投票 参加者の意思で希望の団体と連絡先交換

プレゼンを行った団体

【ご当地〇〇部】

「〇〇したい!」をカタチにしよう 想いを持つ人が集まり、繋がり、実現するための「場」をにになりたいと実践中

【麻績村観光協会】

麻績村の観光事業、地域住民との交流、世代を超えた仲間づくりの推進

【企業組合労働協会の】

安曇野市穂高で子ども食堂と小中学生への学習支援に取り組み中

【ヤングにほんご教室】

外国にルーツをもつ子どもの学習支援、日本語教育ボランティア

【松本ユース平和ネットワーク】

若者が平和について考え、学び、発信する場作り

【NPO 法人アルウィズ】

住み慣れた地域で安心して充実した生活が
おくれるような様々な生活支援の場と
ネットワーク展開



地域での学びから掲げた目標実現へ向けて

私は観光ホスピタリティ学科を卒業し、松本市地域づくりインターンとして3年間松本城周辺の16町会からなる中央地区で地域住民の方や松本大学生とコミュニティスペースの運営を行いました。この取り組みから、地域には多様な経歴や技術を持った方々があり、大学生が指導いただく中で学習アイデアを形にすることの大切さを学びました。

今回の「ごじょってく」で、松本大学出身の先輩がNPO法人事業を通じた地域での学びを基盤に自ら使命を掲げ取組みを行われている話を伺いました。学生時代からの地域との関わりから地域課題解決の目標へ向け自ら事業運営を行われる姿を目の当たりにし、私自身も育てていただいた地域の皆様に恩返しができるよう自身の地域課題解決目標の実現へ向け邁進せねばと気持ちを新たにしました次第です。

松本市地域づくりインターン

松本大学地域総合研究センター特別調査研究員 濱 由佳子

2017年度 年間活動報告会で学び合い

2018年3月6日開催 各分野で活動する10プロジェクトが成果を発表し、
交流と学びを深めました。

有意義な振り返り

私は、今回の活動報告会に参加して、自分のプロジェクトや他のプロジェクトの人たちがどのように1年間活動してきたのかを、より深く知ることができました。

その中でも特に、午前に行われた全体研修の時間で、私がこの1年間やって来たことを振り返ることができました。私自身、すすき川花火大会のプロジェクトに参加しています。全体研修を通じて、この1年何をしてきたか、次はどうしたいかを話し合うことができました。

また、ポスターセッションの時間もあり、そこで他プロジェクトの活動を知ることができ、自分たちのプロジェクトももっと頑張らないという気持ちになりました。

総合経営学部 総合経営学科 2年 手塚 大貴



スケジュール

【研修の部】
講師：LODEC Japan 合同会社
代表 たつみ かずき氏
ディレクター 長谷川 雄一氏

◆リーダー研修
テーマ：リーダーの役割と話し合いの進め方

◆全体研修
テーマ：チームの一員としての自分の役割と
来年度活動テーマを話し合う

【昼食交流会】

【活動報告の部】

◆プレゼンテーション 各プロジェクトにつき3分
◆ポスターセッション 前後半各30分

【終わりの会】

◆講評
◆卒業生から一言



スタッフとして取り組んで

新しい考え方を学びました

今回、私は初めて年間活動報告会に参加しました。「ごじょってく」でもお世話になったLODEC Japanのお二人にもご協力いただき、リーダー向けと組織全体向けの研修をしていただきました。どちらとも新しい考え方を得ることができるとも嬉しい機会でした。

後半はメインの活動報告です。今回はポスターセッションによる発表でした。自分が知りたいプロジェクトを重点的に知ることができるという面ではとてもよい報告会だったと思います。しかしまだ改善できることがあると思いますので、来年はよりよい報告会になるように頑張りたいと思います。

総合経営学部 総合経営学科 2年 有賀 大介

年間活動報告会を終えて

2017年度の活動報告会は各プロジェクトの活動紹介に加え、ポスターセッションという形で行われました。ポスターセッションでは、発表者と聞き手が近い距離で積極的に質問をしたり、意見を交換する場面が印象的でした。私自身今回初めての参加でしたが、会全体を通して、各プロジェクトの活動内容を詳しく知ることができ、そこから学べるものが沢山ありました。また、今後の自分達の活動について考える良い機会になりました。来年度も活気のある活動になるよう、メンバーと一緒に頑張りたいと思います!

人間健康学部 スポーツ健康学科 2年 南雲 彩香



地域の仲間のイベント

楽団ケ・セラ
第15回定期演奏会

学生プロジェクト「Sign」のメンバーもスタッフとして参加します。
日時●2018年5月13日(日) 開場 13:30 / 開演 14:00
会場●松本市音楽文化ホール 主ホール
料金●当日券: 1,000円 (中学生以下無料)
前売券: 一般 800円 会員 500円
問合せ先●NPO 法人ケ・セラ TEL: 0263-88-5616

地元新村の行事案内

新村地区
オープン大会

日時●2018年7月1日(日)
9:00 ~ 開会予定
会場●松本市芝沢体育館



新村地区市民運動会

日時●2018年9月2日(日)
会場●松本市新村農村広場グラウンド

このほか新村公民館、新村児童センターでも行事の予定があります。
考房『ゆめ』窓口・学内掲示板または新村公民館 (0263-48-0375) までお問い合わせください。



地域と地元の学生のイベント

松本かえるまつり

実行委員

募集中です!



第17回松本かえるまつり

日程●2018年6月23日(土)~24日(日)
毎年6月の中旬に松本市縄手通りで開催される「かえるまつり」の準備と運営を行う「かえるまつり仕事人」を募集しています。松本大学生だけでなく、地域の方や信州大学生と協力しながら活動しています。活動期間は4月から6月と短いので、取り組みやすいと思います! 少しでも興味のある方はぜひ考房『ゆめ』までお越し下さい!

4年間ありがとうございました

皆様に支えられ4年間『ゆめ』に勤務させていただき本当にありがとうございました。ゆめカフェ、合宿、栄村の視察、学祭、あるぷすタウン、フォーラム等初めての経験ができて、楽しい思い出を作ることができました。これをきっかけにパソコンにも挑戦しました。自分の子どもと同じくらいの学生さんに接し母親のつもりで挨拶と励ましを心がけて参りました。皆様これからも、明るく楽しい活動して下さいね。お世話になりました。



地域づくり考房『ゆめ』 浅川 三枝子

お問い合わせ、ご意見等は下記へご連絡ください。



松本大学 地域づくり考房『ゆめ』

〒390-1295 長野県松本市新村 2095-1
松本大学 7号館 2F
TEL: 0263-48-7213 (直通)
FAX: 0263-48-7216 (直通)
E-mail: community@matsu.ac.jp
URL: http://yume.matsumoto-u.ac.jp/
※開館日時: 月~金 9:00 ~ 18:00